



### — 卯野(うの)修三 議員活動報告 —

新緑が目鮮やかな、すがすがしい季節となりました。春の統一地方選挙も終わり、能美の里・能美の山は落ちつきを取り戻しました。さて、今回は、令和4年12月議会と令和5年3月議会の一般質問を記載しましたので、どうぞ一読いただければ幸いです。 敬具

### 「勇気・元気・やる気」+「根気・突破力」 能美市議会議員 卯野 修三

(1959年(昭和34年)1月3日生まれ) 寺井高校卒業



◆令和5年2月 すが よしひで 大学の先輩 菅 義偉 元首相と (永田町・衆議院第二議員会館)



◆令和5年1月 寺井町壮年団 総会 (寺井町民センター)



◆令和5年2月 いしかわ伝統工芸フェア (東京国際フォーラム・有楽町) <九谷焼を応援>



◆令和5年2月 能美市商工会 商業部会総会で挨拶 (辰口温泉・たがわ)



◆令和5年3月 寺井高校同窓会入会式で挨拶 (寺井高校)



◆令和5年3月 あいさつデー(寺井小) (毎月参加しています)



◆令和5年3月 復旧した遣水観音・霊水堂周辺を確認(仏大寺町)



◆令和5年3月 桜の名所・根上山散策(根上町・高坂町)



◆令和5年3月 てらかつ(寺井町活性化協議会) いしかわ景観大賞受賞を市長に報告(能美市役所)



◆令和5年3月 寺井校下壮年団の和田山清掃に参加(和田山) (麓に、能美ふるさとミュージアムがあります)



◆令和5年3月 くまの会総会で挨拶 (須天熊野神社を本務社とする 37社の会) (辰口福祉会館)



◆令和5年4月 寺井町公民館主催のカーブ ミラーみがき (寺井町内・図書館前)



◆令和4年8月 法政大学石川県校友会総会で山本浩 スポーツ健康学部教授(元NHKアナ) (金沢ニューグランドホテル)



◆令和5年2月 のみ丸谷カップ(物見山体育館)を能美市バレーボール協会長として応援

### 令和4年12月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 12月6日

(市執行部の役職名、氏名は令和4年12月6日現在です)

質問

#### ◆デジタル化と地域経済循環◆

①地域経済循環をどうやって促進させていくのか、デジタル通信の導入の可能性は？

答え

産業交流部 谷田部長

2018年の能美市の民間消費額1,273億円のうち、77.5%の987億円が市内消費で、残りは市外流出。市は2026年に地域内消費の比率82.5%を目標としており地元消費を促し、地域経済活性化の手段として「デジタル地域通貨」の導入に取り組む。



質問

②デジタル通貨導入について、商店・商業団体・行政との連携が必要と考えるが、市の考え方は？

答え

産業交流部 谷田部長

先進自治体の視察や、市商工会・のみ商業協同組合との協議を進めると同時に、マイナンバーカードのマイナポイント、自治体ポイント、観光クーポンなど幅広く利用できるシステムの研究に取り組む。

質問

#### ◆道の駅について◆

北陸新幹線県内全線開通が2024年春に迫るなか、観光物産の拠点となる「道の駅」の設置を具体的に、いつ、どこに、と考えているのか。

答え

産業交流部 谷田部長

加賀産業開発道路沿いの旧辰口フラワーハウス跡地を利用し、2024年度の供用開始を目指す。2016年度の調査で日量約21,000台の交通量があり、民間のノウハウを活かし、民設民営で賑わい創出につなげたい。

質問

#### ◆市内の交通安全対策と自転車保険義務化について◆

①令和5年4月から自転車のヘルメット着用が努力義務化されるが、交通安全対策の観点からヘルメット購入補助は考えているのか。

答え

市民生活部 米脇部長

現在、県内では3市町が子どもを対象にした補助を行っているが、自転車利用全てに対するヘルメット着用努力義務化に対し、先進地の状況を調査し検討していきたい。

令和5年度予算にヘルメット購入補助が計上された。



質問

②中学校の交通安全教育はどのように考え実施しているのか。

答え

谷口 徹 教育長

根上中では能美警察署員を招き、ヘルメット着用に対し生徒が話し合いを実施。寺井中では保健体育の授業でICTを活用して、登下校の危険箇所について再確認する取り組みを実施。辰口中では、生徒集会で、生徒会生活委員が交通マナー・ヘルメット着用の呼びかけを実施。

(裏面もご覧下さいませ)

③平成29年12月議会でも一般質問で取り上げたが、自転車保険義務化の進み具合は？

井出敏朗 市長  
石川県では、義務化の条例等が示されており、連携しながら関連施策を推進する。



《耳より情報》



一般質問の翌日、地元新聞の「記者席欄」に、「抑揚たっぷりの独特の言い回しに、ベテラン議員から『演歌歌手の独演会のような』との声があり、当の本人は50分の制限時間中、今回の質問では最長の48分を使っての質問に『言いたいことは言えた』と満足げ」と記載された。

令和5年3月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 3月13日 (市執行部の役職名、氏名は令和5年3月13日現在です)

◆リスクリング（学び直し）について◆  
①産学官金労の連携について。他市において、商工会議所・商工会、金融機関、労働組合と行政が連携して、リスクリングの促進に関する協定を結んだとの報道があったが、能美市はどのように取りこんでいくのか。

リスクリングとは…デジタル化の進展や働き方の多様化に伴い、新たに発生する業務に必要なスキルや知識を企業の経営戦略や人材開発の下に、社員・職員が学ぶこと。



井出敏朗 市長  
JAIST（北陸先端科学技術大学院大学）、金沢学院大学・短大、東京大学、寺井高校と多岐にわたる取りくみを展開中。又、市内の事業者のリスクリングに対する意識は、その必要性の認識や支援制度は事業者によって差があり、今後ニーズの調査をしながら、産学官金労の連携に取りくむと共に、必要に応じてリスクリングの支援をしていきたい。



②市職員のリスクリングについて、どのように考えているのか。

総務部 橋場部長  
職員は定期異動があり、その都度新しい業務について学び実践している。このような異動に伴う業務スキルや知識の習得はリスクリングに相通ずるものがあり、職員がそれぞれの役割を果たすことでモチベーション向上につなげていきたい。



③市職員のリスクリングの現状と処遇への反映は？

総務部 橋場部長  
毎年、職員から提出される自己申告書で上司は資格取得などを把握、尚リスクリングや資格取得は業務に活かされてこそ真の意義があり、人事評価の結果は処遇に反映させている。



④市職員は職務履歴に応じて目指すゴールを決めて、リスクリングに取りくむのか。

総務部 橋場部長  
地方公共団体は、多くの課題解決が求められ、有識者によるオンライン会議や先進地視察に取りくんできた。リスクリングを職員が将来のなりたいたい姿やありたい姿を達成するための手段として、引き続き人材育成に努めていきたい。

◆特別支援教育について◆  
①小松市内にある県立特別支援学校の分校を県立寺井高校の敷地内に誘致できないか。

谷口 徹 教育長  
特別支援学校の高等部をぜひ能美市にという声があることは承知している。県立金沢向陽高校の敷地内に県立いしかわ特別支援学校高等部が、令和7年度を目標に出来ることはインクルーシブ教育（みんな一緒、誰一人取り残さない教育）の推進で素晴らしいことです。今後、県の動向を注視し、能美市のインクルーシブ教育の推進のために、能美市の保護者の声を伝えていきたい。

【参考】能美市から特別支援学校の小中学校部へ通学している子どもは39人、小中学校の特別支援学級には81人、通常学級で通級の指導を受けている子どもは150人。

②より丁寧に障がいのある児童・生徒に接するためにも、特別支援学級の教員増員は？

谷口 徹 教育長  
能美市では、国や県に特別支援学級では8人から4人に減らす改善や、特別支援の教育支援員の配属拡大の財政支援要望をしている。尚、能美市では教育支援員を令和3年度の33名から翌年は48名に増員した。

【参考】現状、教員1人に対する児童生徒数は特別支援学級では8人、通常学級では13人。

◆電気・燃料費の支援について◆ 事業者向けの電気料、燃料費支援は？

産業交流部 谷田部長  
能美市としては、国・県の動向を注視していくが、今年度予算で事業者の再生エネルギーや省エネ製品導入を促進し、コスト削減や生産性向上につなげるべく、カーボンニュートラル推進事業として、省エネ投資に係る経費の一部を補助する制度の創出を予定していて、エネルギー価格高騰対策と連動した※グリーントランスフォーメーションの推進に取りくみたい。 ※脱炭素社会の実現に向けた取り組みを通じ、緑化社会システム全体を変革する。(GXとも言う)

◆こども家庭庁について◆ 本年4月、こども家庭庁発足に伴う能美市の対応は？

健康福祉部 川本部長  
こども家庭庁に関する担当課は、子育て支援課、いきいき共生課、健康推進課に分かれていて、平成29年度から関連する課のため「横系プロジェクトチーム」を立ち上げ、検討を重ねている。令和5年度末に、健康福祉センター「サンテ」の改修を終え、令和6年度から母子保健の相談機関である「子育て世代包括支援センター」と児童福祉の相談機関である「子ども家庭総合支援拠点」を集約して、一体的に相談支援を行う「子ども家庭センター」の機能を付加する予定。こどもまんなか社会の実現のため継続して検討していく。

3月議会の一般質問のまくら(冒頭)での発言



「令和5年3月10日に急逝された山田憲昭白山市長に心よりおくやみ申し上げます。」  
そこで、丁寧なお人柄と実行力を併せ持つ故山田市長は、後から来る人のために道を

つくり続けたと拝察し、ご当地白山市松任の俳人・加賀の千代女の「ふみわけた 情の道や 山さくら」を読み上げ、不肖、私こと卯野も、そのような人間になれるよう努力します。と述べた。

能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16  
TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812



メールアドレス uno0905@tvk.ne.jp

うの修三

検索



卯野修三